

表紙のことは

木村 里奈「海（たのしい海の思い出）」

全盲等の障がいをもつ里奈さん。家族やボニーキャンプで行った海、波や風の音と潮の香り、海岸の砂や貝殻、でこぼこした岩など、暑い夏の海、とっても楽しかったですね。アシストしていただいた当時の学生さんや先生方、大変お世話になりました。現在も当時の記憶があり、楽しそうに話をするときがあります。

家族で行った水族館では、ヒトデやナマコ等の不思議な感触の生き物や、イルカやアシカは独特の声を感じたと思います。

この絵は成長を感じた大切な思い出が詰まっています。レンガの家の先生方、上手に導いていただきありがとうございます。

近いうちに大好きな電車に乗って海に行き、また素敵な絵を描こうね。（ハハ）



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



澤田 昭一「船出」

2020年2月初め、私は病に倒れ約100日間の入院生活となり、20日間くらいは人工呼吸器のお世話になりました。左手はかなり不自由となり、この時点で「船の製作はもうダメだ」と理解しました。

しかし退院後、デイサービスや訪問リハビリにより多少とも使えるようになったので製作を始めました。このペーパーシップは約4カ月をかけて製作しました。

今回つくった船は、現物の1/200のサイズで、全長は60cmです。現物は長さ120m、幅18mの船種はカーフェリーです。素材は98%は紙製です。

私は現在、95歳と3カ月になりました。